

税務課

問 厳しい経済状況の中、徴収率は維持している。その要因をどう分析しているか。

答 何とか現状維持だが、22年度滞繰分が若干落ちている、悪いという自覚だ。今年度も大震災の影響で悪化が予想される。

問 固定資産の評価委託先は。

答 土地については不動産鑑

定士より専門的な評価をお願いすることとなる。その他これまでの固定資産評価を管理している会社と随意契約を締結する。

問 固定資産税が高い。見直して人口が減らないように対応するべきだがどうか。

答 土地は市場価格だが、家屋は再建築価格で評価を行うので税額が下がりにくい。

会計管理者兼町民課

問 ごみ袋の分別が大変だ。リサイクル処理の実際について広報が必要なのでは。

答 袋の種類が多くなってきたが大変だが、広報も充実したい。

問 保育料の滞納がある。徴収にはどう対応するか。

答 督促して納付をお願いしているが、法改正で子ども

手当を充当しても良いことになった。この部分は税務課と連携している。

問 衛生組合との今後の関わりは。受け皿はあるか。

答 衛生組合は23年3月に解散することが決まった。カレンダーの配布等は町内会にお願いし、補助事業等は町で継続する。また環境指導員協議会を設ける。

産業観光課

問 旭原花の郷は結果が出ていない。土地改良調査をしたことがあるか。また管理を委託するときの指示はあるのか。

答 土に関して調査をしたことはない。管理植栽時に立会い指導したい。

問 国土調査について、三俣地区と中学校付近の進捗状況は。

答 三俣は震災のために遅れている。堰場の中学校付近は10月頃から始めたい。

町長への総括質疑

問 監査意見書の中で「随意契約の根拠が曖昧であり、厳格な契約事務を」とある。2年連続の指摘である。契約事務に関する職員の指導はどうだったのか。

答 契約事務は、町の根幹と考えている。下まで行きわたっていないようなので、再度厳しく指導したい。また契約事務の説明はきちんと受けたい。

問 中国総領事との関係で仕方ない部分もあるが、一つに特化すると大事なものを逃してしまう。韓国、台湾、香港も大事に願いたいかどうか。

答 中国に行くことを通して良く見ていただきたい。他の所も次はインド、ベトナム、ミャンマー、韓国など、みんなから良く見ていただきたい。

問 財政健全化判断比率は県下でも3本の指に入る。湯沢の実態をどう考えるか。

答 不交付団体が続くよう願っているが、観光が落ちてきて、税収も伸びない。財政担当は数年で交付団体になると見込んでいるが、そうならないように努力したい。



▲旭原 花の郷 看板



(議会中 撮影:岸野議員)